

原子力災害に関する飼料作物の収穫調製

- 1 ロールサイレージ調製時の放射性セシウム濃度の上昇について
- 2 稲WCSの収穫調製について
- 3 飼料用とうもろこし等の収穫調製について

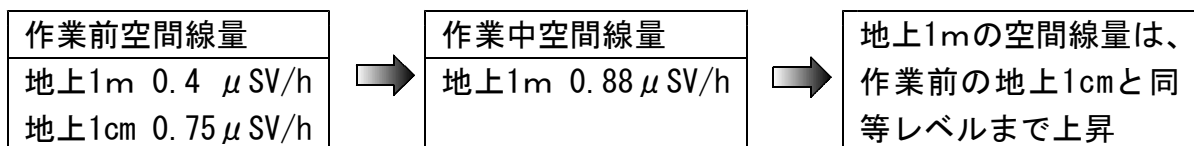
福島県農林水産部

1 ロールサイレージ調製時の放射性セシウム濃度の上昇について

（「福島県農業総合センター畜産研究所試験結果」抜粋）

（1）収穫調製作業中の空間線量の上昇

ロールサイレージ調製作業中の地上1メートルの空間線量は、下図のとおり上昇することがわかりました。



これは、収穫作業（刈り取り、反転、収草）により草地表面にある放射性セシウムがちりやほこりとともに拡散されるためです。このため、作業時はちりやほこりを吸い込まないように、マスク等を着用して収穫作業を行ってください。

（2）生草とロールサイレージの放射性セシウム濃度

畜産研究所内のほ場において、生草からロールサイレージに調製した場合の放射性セシウム濃度は、100～158%のバラツキで上昇し、平均で112%に上昇することがわかりました。

これは、草地表面にある放射性セシウムが収穫作業により拡散されてロールサイレージ内に混入したことや、調製後の牧草の糖分解による乾物の損失により、放射性セシウム濃度が上昇したものと考えられます。

また、その濃度は土壌条件や作業時の粉じん等の巻き上げ方の違いにより大きなバラツキを生じたものと考えられます。

例：収穫前牧草の放射性セシウム濃度が300ベクレル/kgの場合

収穫後のロールボールサイレージは、平均で336ベクレル/kg、最大で474ベクレル/kgまで上昇する可能性があります。

（牧草及びロールボールサイレージともに生草（水分80%）換算）

以上の結果から、牧草等の収穫調製は、土砂や粉じん等が混入しないよう放射性物質の影響に配慮した収穫調製を実施してください。

（高刈りの実施、過度の反転を行わない、梱包後は速やかにラッピングする等）

2 稲WCSの収穫調製について

(1) 放射性セシウム濃度の事前調査（立毛状態の飼料稲）

8月11日～19日にかけて順次サンプリングを行い事前調査を行っています。

事前調査が終了した地域から収穫作業を開始してください。事前調査の計画や結果は県のホームページをご覧ください。最寄りの農林事務所農業振興普及部又は農業普及所へお問い合わせください。

試料採取日	調査地点	放射性セシウム濃度	備考
8月11日	福島市ほか7市町村	ND～59ベクレル/kg 検体13点中11点がND	全地域 飼料中の 暫定許容値※以内

※飼料中の暫定許容値：300ベクレル/kg（水分含有量8割ベース）

当分と畜を予定しない繁殖雌牛と育成牛は、畜産農家自ら生産又は耕畜連携で生産した飼料に限り3,000ベクレル/kgとなります。

ただし、この場合は生産されたたい肥は全て、自給生産する草地及び飼料畑に還元することが条件です。

(2) 収穫調製時の留意事項

1の試験結果で示したとおり、稲WCSについても収穫調製時に土砂等の混入により、放射性セシウム濃度が高くなる可能性がありますので、次のことに注意して収穫作業を行ってください。

ア 共通

- (ア) 早期落水し、ほ場（田面）を固くしてください。
- (イ) ほ場が十分に乾いていない場合や、雨天時、朝露が残る状態では、土砂混入が心配されるので収穫を延期してください。
- (ウ) 刈り取りの高さを高めに設定してください。
- (エ) ロールを排出するときは、ほ場の土に触れないように、ブルーシート等の上に排出してください。
- (オ) 排出したロールは速やかにラッピング（包装）してください。

イ 牧草等の収穫機械を使用する場合

牧草等の収穫調製機械を使う場合には、反転作業は、テッダの速度を落とし、土壌を巻き上げないように丁寧に行ってください。

また、可能な限り反転回数を少なくしましょう。

(3) 畜産農家への譲渡、飼料の給与等

稲WCSは、収穫後に放射性セシウム濃度のモニタリング検査を行います。

収穫した稲WCSのモニタリング検査結果が判明しないと、牛等への給与はできませんので、その間は、畜産農家へは譲渡しないでください。

3 飼料用とうもろこし等の収穫調製について

(1) 飼料用とうもろこし、ソルガム等の放射性セシウム濃度のモニタリング検査

8月8日～19日にかけて順次サンプリングを行い検査を行っています。

モニタリング検査の結果、飼料中の暫定許容値以内となった地域から収穫作業を開始してください。モニタリング検査の計画や結果は県のホームページをご覧ください。か、最寄りの農林事務所農業振興普及部又は農業普及所へお問い合わせください。

試料採取日	調査地点	放射性セシウム濃度	備考
8月8日	二本松市ほか12市村	ND～58ベクレル/kg 検体19点中18点がND	全地域 飼料中の 暫定許容値 以内

(2) 収穫調製時の留意事項

1の試験結果で示したとおり、飼料用とうもろこしやソルガム等についても収穫調製により放射性セシウム濃度がモニタリング検査結果の濃度を超える可能性がありますので、次のことに注意して収穫作業を行ってください。

ア 共通

- (ア) ほ場が十分に乾いていない場合や雨天時、朝露が残る状態では、土砂混入が心配されるので収穫を延期してください。
- (イ) 刈り取りの高さを高めに設定してください。
- (ウ) 収穫作業は、土砂や粉じんを巻き上げないように速度を落として作業を行ってください。

イ ロールベール体系

- (ア) ロールを排出するときは、ほ場の土に触れないように、ブルーシート等の上に排出してください。
- (イ) 排出したロールは速やかにラッピング（包装）してください。

ウ バンカーサイロへ調製する場合

- (ア) バンカーサイロ表面に放射性セシウムが付着している可能性がありますので、飼料調製前に必ずコンクリート表面を十分に洗浄してください。
- (イ) バンカーサイロやサイレージに土砂が混入しないように積み込み作業を行ってください。（運搬用機械のタイヤ、作業機械や器具、作業者の長靴等を十分洗浄する。バンカーサイロ入口は砂利やシートを敷く。等）

(3) 飼料給与や飼養管理上の留意事項

モニタリング検査結果で、飼料中の暫定許容値以内の地域で給与が可能ですが、できる限り放射性物質の影響が少なくなるような飼料設計に心がけてください。

問い合わせ先：農林水産業に関する相談窓口（電話：024-521-7319）
ホームページ：農林水産部研究技術室ホームページ（PDF形式ファイル）
URL http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyukaihatu/gi_jyutsufukyu/seikugijyutsujyohou.html

（他の農業技術情報等をご覧ください）

モバイル県庁：福島モバイル県庁→お知らせ・各種情報→農業技術情報
（右欄に掲載のQRコードよりご覧ください）



モバイル版 QRコード